

Emmanuel Pahud with Friends of Berlin



フルート
エマニュエル・パユ
Emmanuel Pahud,
Flute

心躍る世界最高峰の響き——

”キング・オブ・フルート”パユと

ベルリンの仲間たちが織りなす、至福の室内楽



ヴァイオリン
マヤ・アヴラモヴィチ



Joaquín Riquelme
García, Viola

ヴィオラ
ホアキン・リケルメ・ガルシア



チェロ
ダーヴィット・リニカー

David Finiker,
Cello

エマニュエル・パユ & ベルリン・フィルの仲間たち

モーツァルト

Wolfgang Amadeus Mozart:

フルート四重奏曲第3番 ハ長調 K.Anh.171/285b

Flute Quartet No.3 in C Major, K.Anh. 171/285b

ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K.423

Duo for Violin and Viola in G Major, K.423

フルート四重奏曲第1番 ニ長調 K.285

Flute Quartet No.1 in D Major, K.285

ヴィラ=ロボス

アソビオ・ア・ジャート(ジェット・ホイッスル) *フルート&チェロ

Heitor Villa-Lobos: Assobio a Jato for Flute & Cello (The Jet Whistle)

ドヴォルザーク

四重奏曲「アメリカ」へ長調

(原曲: 弦楽四重奏曲第12番 へ長調 作品96)

Antonín Dvořák:

Quartet No.12 in F Major, Op.96 "American" (orig. String Quartet)

2025 7.7 [月]

19:00開演(18:30開場)

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

¥8,800 (全席指定・税込) 一般発売 | 3.29[土]10:00~

【お問合せ】朝日ホール・チケットセンター03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール



© Josef Fischmaller

エマニュエル・パユ (フルート)

EMMANUEL PAHUD, FLUTE

6歳でフルートを始め、パリ国立高等音楽院でミシェル・デボスト、アラン・マリオン、クリスチャン・ラルデ、ピエール＝イヴ・アルトールに師事、同音楽院卒業後はパーゼルのオーレル・ニコレの下で研鑽を積んだ。1989年神戸国際フルートコンクール第1位、1992年には最難関のジュネーヴ国際音楽コンクール第1位を獲得。

1992年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のオーディションに合格し、翌年には首席奏者に就任。ソリストとして、これまでクラウディオ・アバド、ジョヴァンニ・アントニーニ、ダニエル・バレンボイム、ピエール・ブーレーズ、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、ダニエル・ハーディング、パーヴォ・ヤルヴィ、ロリン・マゼール、ヤニック・ネゼ＝セガン、サー・サイモン・ラトルをはじめとする巨匠のもとと世界の名だたるオーケストラと共演。室内楽の分野では、エリック・ル・サージュ、アレッシオ・バックス、イェフム・ブロンフマン、エレヌ・グリモー、ステイーヴン・コヴァセヴィッチといったピアニストとリサイタルを行うほか、レ・ヴァン・フランセ(木管アンサンブル)のメンバーとして演奏活動およびレコーディングを行っている。また、1993年にエリック・ル・サージュ、ポール・メイエと共にサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭を創設、芸術監督を務める。来日も多く、リサイタルのほか、N響、読響、大フィル、札響を含むオーケストラとの共演、またマスタークラスも行っている。2006年には大河ドラマの紀行音楽に参加した。録音ではワーナー・クラシックスと専属契約を結び、数多くのCDをリリースしている。フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」受章。英国王立音楽院名誉会員。2024年レオニー・ソニング音楽賞(デンマーク)受賞。

©Denis Felix



マヤ・アヴラモヴィチ (ヴァイオリン)

MAJA AVRAMOVIĆ, VIOLIN

セルビアのニシュに生まれる。ピアノ教師である母の勧めでヴァイオリンを始め、才能ある子どもたちのための音楽専門寄宿学校で教育を受ける。1981年にヴァイオリンでディプロマを取得後ドイツへ渡りイゴール・オジムに師事し、アーティスト・ディプロマを取得。さらにアムステルダムでヘルマン・クレッパースのもと研鑽を積む。複数のオーケストラで経験を積み、1995年よりベルリン・フィルのメンバー。ディヴェルティメント・ベルリン、カピュソン兄弟(ヴァイオリン/チェロ)やポール・メイエ(クラリネット)との共演等、室内楽奏者としての活動も活発に行っている。



ホアキン・リケルメ・ガルシア (ヴィオラ)

JOAQUÍN RIQUELME GARCÍA, VIOLA

スペインのムルシアに生まれる。8歳の時にヴァイオリンを始めたいと希望したものの、音楽学校のヴァイオリン科はすべて定員一杯になっていたためヴィオラを選択、すぐにこの楽器の虜になる。12歳になるとオーケストラ楽員になることを決め、マドリード王立音楽院でエミリオ・マテウおよびアラン・コヴァチに師事、引き続きベルリン芸術学校の修士課程でヘルムート・ローデのもと研鑽を積む。バルセロナ交響楽団の副首席ヴィオラ奏者としてキャリアをスタートし、2010年ベルリン・フィルに入団。ベルリン・フィルでの活動に加え、オーケストラ・ソリストおよび室内楽奏者としても演奏活動を行っている。



ダーヴィット・リニカー (チェロ)

DAVID RINIKER, CELLO

パーゼルに生まれ、音楽家の家庭で育つ。6歳で低音に魅了され、コントラバスを習いたいと希望したが、まだ小さかったためチェロを選択。すぐにこの楽器の音色に心を奪われた。ジャン＝ポール・グヌーおよびアントニオ・メネセスに師事し、パーゼル音楽院でソリスト・ディプロマを取得。さらにアルト・ノラス、ボリス・ペルガメンシコフ、ヴォルフガング・ベッチャー、ダーヴィド・ゲリンガスの指導も受けている。1995年にベルリン・フィルに入団、同僚たちと複数のアンサンブルを組み演奏活動を行うほか、「ベルリン・フィルの12人のチェリストたち」を含むアンサンブルのために様々な楽曲の編曲も行っている。

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>
 イープラス <https://eplus.jp/asahihall/> [teket https://teket.jp/9987/46197](https://teket.jp/9987/46197)

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児サービスのお問合せ・お申込み】 イベント託児・マザーズ:0120-788-222
 ※都合により公演内容が変更となる場合がございます。※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください。

お問合せ **朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990** (日・祝除く10:00~18:00)



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
 朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)
東京メトロ銀座線(1,2番出口)
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

浜離宮朝日ホール公式



主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール
 @HamarikyuuAH